



1940年 20歳のころ



高校生のころ、身のまわりのものをかたっぱしから絵にかいたことがあるそうです。ものを正確にみて、表現する練習だったといいます。そのおかげで、絵をかくことに少しも抵抗がなくなり、ひとになにかを説明するとき、ことばではなかなか表現できないことでも、絵にするとよくわかってもらえたそうです。